

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年12月26日

計画の名称	星田北エリアにおける地域特性を活かした良好なまちづくりの推進													
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	大阪府,交野市													
計画の目標	本地区は、JR学研都市線の星田駅（快速停車駅）周辺と第二京阪道路の沿道にある高い開発ポテンシャルを有している地区で、無秩序な乱開発が懸念されていた。 その中で農地所有者が中心となり土地区画整理事業により、質の高い公共施設整備を行うことにより、土地利用転換を誘致し、駅周辺及び幹線道路沿道という地区の特性を活かした健全な市街地の形成を図り、魅力ある都市拠点の整備を目的とする。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		5,224	A	5,224	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30年度当初	R2年度末	R4年度末
1	快速停車駅周辺という立地特性を活かして定住人口の増加を図る。 土地区画整理事業区域内の居住者数	0人	0人	1500人
2	幹線道路沿道という立地特性を活かした企業を誘致し、活気と活力に満ちた土地利用を図る。 土地区画整理事業区域内に新たに進出してきた企業数	0社	0社	5社
3	駅前での近隣商業地域等の立地特性を活かしたにぎわいの創出を図る。 土地区画整理事業区域内に新たに建築された店舗数	0店	0店	10店

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	大阪府	間接	交野市・枚 方市星田北 土地区画整 理組合	区画	改築	交野市・枚方市星田北土 地区画整理事業（星田駅 前線）	L=419m W=16m	交野市・枚方市						425	1.48	-
	A01-002	街路	一般	大阪府	間接	交野市星田 駅北土地区 画整理組合	区画	改築	交野市星田駅北土地区画 整理事業（星田駅前線、 星田北中央線）	L=412m、413m W=16m	交野市						1,273	1.40	-
											小計						1,698		
市街地整備事業	A13-003	市街地	一般	交野市	間接	交野市星田 駅北土地区 画整理組合	-	-	交野市星田駅北土地区画 整理事業	都市再生区画整理 26.4ha	交野市						2,668	1.40	-
											小計						2,668		
道路事業	A01-004	街路	一般	交野市	直接	交野市	S街路	改築	星田駅前線（枚方市高田 1丁目）	L=230m, W=16m	交野市						350		-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-005	街路	一般	交野市	間接	交野市・枚 方市星田北 土地区画整 理組合	区画	改築	交野市・枚方市星田北土 地区画整理事業(区画道路 1号線 他2路線)	L =85m,520m,419m W =16m,12 m	交野市・枚方市						508	1.48	-
											小計						858		
											合計						5,224		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
交野市都市まちづくり部都市まちづくり課で評価を実施。	令和7年12月（土地区画整理事業完了時点）
	公表の方法
	ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本地区は、JR学研都市線の星田駅（快速停車駅）周辺と第二京阪道路の沿道にある高い開発ポテンシャルを有している地区で、無秩序な乱開発が懸念されていたが、土地区画整理事業により、質の高い公共施設整備を行うことにより、土地利用転換を誘致し、駅周辺及び幹線道路沿道という地区の特性を活かした健全な市街地の形成を図り、魅力ある都市拠点の整備に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
地域のまち育て協議会等と相互に連携することにより、地域のより一層の発展を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	1500人	
	最 終 実績値	1605人	
2			
	最 終 目標値	5社	
	最 終 実績値	20社	
3			
	最 終 目標値	10店	
	最 終 実績値	13店	